

メダン市派遣を通して

岡山夕夏

今回の八泊十日のメダン市派遣は、とても有意義なものになりました。

私は今回のインドネシア派遣を通して、いろんなことを経験させていただきました。

特に、衣食住に関するさまざまな日本の違いを見出すことができました。一番私が驚いたことは衛生面の違いです。準備段階のオリエンテーションからずっと水には気をつけるようにと散々注意を受けてきました。水は、必ず沸騰しているものか、ミネラルウォーターを飲むように言われ、蛇口をひねったら安全でおいしい水が出てくる日本の豊かさを感じました。

宗教の面では、イスラム教徒が66パーセントもいる、イスラムの国ですから、ヒジャブというスカーフのような布で頭髪を隠している女性をあちらこちらに見かけることができました。

食文化は、イスラム教のムスリムにのっとり、豚を食べることなく、肉は鳥を食べることが多かったです。インドネシア料理は辛いものをよく食べると聞いていたので、食べられるかどうか不安に思っていたのですが、アディスティ(ホームステイ先の女の子)が辛くないものを選んでくれて、伝統的な料理でも、とてもおいしくいただきました。私が好きなのは、ナシゴレンと呼ばれるインドネシア風のチャーハンやソトアヤムと呼ばれるチキンスープで、ホームステイ先でよく食べていました。

さらにインドネシア滞在中にたくさんの貴重な体験をさせてもらったのも、思い出に残っています。インドネシア一日目がちょうどインドネシア独立記念日だったので、セレモニーに参加させていただきました。現役高校生による息のぴったり合った行進を見たりメダン市長と握手したりと、滅多にできないことを経験して、とても感激しました。その後、ホームステイの家族との対面式があり、本当に緊張していたのですが、アディスティはとても話しやすく、いろいろと気にかけてくれたので、とても過ごしやすかったです。

二日目は、フリーデーでしたが、メダンの学生会とみんなで集まって、メダン市を観光しに行きました。モスクや宮殿、中国の歴史博物館を見学してから、カラオケに行き、歌を歌いました。私たちは、「3月9日」や「会いたかった」などを歌い、メダンの学生は「fantastic baby」やメダンの国民的な歌などを歌いあって、本当に楽しかったです。

三日目は、世界最大の湖、トバ湖に行きました。クルーザーで湖を横断して、トバ湖関連グッズが売っているお店でビーズ細工のかわいいポーチをおみやげに買いました。その夜、湖近くのホテルでバーベキューをしました。そこで花火をやったり、踊ったり、歌ったり、ゲームをしたりしました。メダンの学生たちと言葉は通じなくても、距離が縮まった気がするので、私はこの日が大好きです。本当に楽しい一日を過ごせました。

次の日の四日目は、トバ湖からメダンに帰るために、ひたすらバスで移動しました。

途中、果物市場に立ち寄り、たくさんの果物を見たり試食したりしました。日本では、見られない色鮮やかな果物が

たくさんあって、おいしそうでした。また、この日は、メダン市の学生会やホームステイの家族の方の人柄に触れることができました。

私が前の日に食べた屋台のとうもろこしで食あたりになってしまったとき、朝からずっと心配してくれて、薬を飲むときにお水を用意してくれたり、塗り薬をくれたりして、「大丈夫？」と気遣ってくれていました。もともとインドネシアという国は、大噴火が起きたり、脱獄の事件が起きたりして、不安が大きく、どんな国か想像がつかなかったのですが、メダンの方は、気さくに優しくしてくれたので話やすく、日が経つにつれて、仲良くなっていくのが感じられて、本当にうれしかったです。

五日目は、学校見学でアディステイの高校に行きました。伝統的な踊りや合唱を披露して下さって、インドネシアの文化を知ることができました。また、教室をまわり、メダンの高校生と少しだけ交流することもできました。その後、インドネシアの大きなショッピングモールであるサンプラザに行きました。日本のモールとあまり変わらない気がしましたが、とても広く綺麗でした。メダンの学生に補助してもらい、かわいい雑貨やお菓子を買うことができました。 お金の桁が日本と違うので、大金持ちの気分になりましたが、七日目にもショッピングに行く予定なので、財布のひもはきっちり締めておきました。その夜は、送別会がありレストランに集まりました。そのとき私たちは、日本から準備していた「ヘビーローテーション」と「女々しくて」を披露しました。気恥ずかしかったけど、会場が盛り上がりくれたので良かったです。

六日目は、シバアイランドにボートで行きました。夜の打ち合わせをしたり遊んだり、日本に帰るのが寂しくてみんなで泣いたりしました。その夜は、浜田総領事主催のパーティがあり、それに参加しました。

最終日の七日目は、空港に行くまでの時間に、ローカルショップに行きました。さまざまなアクセサリーが売っていて、友達の分もたくさん買いました。その後、メダンの学生会のリーダーの家に集まり、出発するまで別れを惜しみました。空港に着いたあとも、離れるのが寂しくて、たくさんの言葉を交わし、泣き、私たちは帰国しました。

私たちは、本当に充実した一週間を送ることができました。

それは、家族・市川市の役員の方・メダンの学生の方・梅田さんなど、たくさんの方に支えられていたからです。おかげで、メダンに着いてからも不安は感じることなく、毎日楽しく過ごすことができました。

私は、メダンで学んだ「何事にも取り組むこと」「コミュニケーションの力」を生かして、何らかの形でいろんな方に感謝を示していきたいと思っています。

本当にこの派遣に参加できて良かったです。ありがとうございました